

# 山から広がる価値、

～山・林業の可能性を広げる知的財産についてみんなで考える～

山は、生物多様性を育み、地球環境や水源を豊かにするなど私たちが生きる環境を守るために、さまざまな機能を果たしています。しかし、山を守り森を育てる林業は、担い手不足や木材価格の低迷などにより、十分に「稼げる産業」とは言えない状況が続いています。

本セミナーでは、山の価値を再発見し、ブランド化や新たな価値を創出に向けて、林業を持続可能な産業へと転換するための取組や「山・林業×○○」の可能性を専門家と一緒に考えます。

1.13 2026  
火曜日

13:30 - 16:30

参加費：無料

会場：イノベーション・ハブ・  
ひろしまCamps

広島市中区紙屋町1-4-3 エカペル1F  
定員：30名(先着順・対面のみ)

## スケジュール

13:00 受付開始

13:30 開会挨拶

13:40 【話題提供】

①田村 栄太 (株式会社FOREST WORKER 代表取締役)

「未来のための森づくり：トレーサビリティを通じた新たな価値の発見」

②植原 健司 (株式会社サクラサク 代表)

「残るものづくり。林業と木工が生み出す感動価値。」

14:20 休憩

14:30 パネルディスカッション

【ファシリテーター】

杉本 淳 (株式会社暮人 代表取締役、NPO法人 自伐型林業推進協会

相談役、総務省 地域力創造アドバイザー)

【パネリスト】

田村栄太／植原健司／田辺康行 (北広島町役場 農林課 課長補佐

兼林業振興係長)

15:20 休憩

15:30 ワークショップ

「山や林業の可能性を広げるために取り組みたいこと、できることを考えよう」

16:20 閉会挨拶

16:30 参加者交流



## 登壇者紹介

田村 栄太 (株式会社FOREST WORKER 代表取締役)



広島県庄原市出身。森林組合を退職後、2017年にFOREST WORKERを設立。次世代に受け継がれる森を守るために、木材のルーツを辿れるシステム・プロダクトを開発。トレーサビリティの仕組みを広めることで、関心が薄れつつある森に多様な価値を見出すことを目指し、まずは、プロダクトを通じて森の魅力を感じてもらい、持続可能な森の成長とその可能性に挑戦している。

植原 健司 (株式会社サクラサク 代表)



広島県三原市出身。大学卒業後(株)松創に就職し、家具職人として10年間勤め、2012年にサクラサクを設立。残る物作りをモットーに削り出しによるオーダーメイドの家具を制作。その後、次男(大工)三男(設計)も加わり、家具から始まる空間づくりと称し建築業を始める。イベントや店舗などの空間装飾なども手がける。現在、従業員4名と共に木材と向き合っている。

【ファシリテーター】



すぎもと じゅん  
杉本 淳 (株式会社暮人 代表取締役)

大学卒業後、まちづくりコンサルタントに従事。地域ブランド化や地域産業振興等に関わる。2012年に起業後は地域ブランド化や中小企業の経営を伴走支援しながら、農林業に携わる。

【パネリスト】



たなべ やすゆき (北広島町役場 農林課 課長補佐  
田辺 康行 兼林業振興係長)

1993年4月に旧千代田町役場に入庁。主に、林業振興と有害鳥獣対策の業務を実施。森林など自然資本を活用する「北広島町地域共生圏コンソーシアム」やジビエ活用としての「きたひろジビエコンソーシアム」を設立。



一参加はコチラから  
申し込み締め切り  
1月8日(木)まで

<https://jp.research.net/r/RG2VSVM>